

令和7年度 魚のゆりかご水田情報発信力強化業務 仕様書

1 委託業務名

令和7年度 魚のゆりかご水田情報発信力強化業務

2 背景と目的

滋賀県では、湖魚が琵琶湖と田んぼを往来し、田んぼで産卵し、田んぼで育った稚魚が琵琶湖へ帰る、かつての豊かな琵琶湖の環境を取り戻す「魚のゆりかご水田プロジェクト」を進めてきた。

魚のゆりかご水田の取組地域では、生き物観察会などを通じた消費者交流、魚のゆりかご水田米を用いた地酒造りやスイーツの販売など様々な取組が展開され、大学や企業・NPO など多様な主体と連携した取組や都市住民との交流が生まれるなど、地域は賑わいを取り戻しつつある。

一方で、高齢化や活動参加者の減少等により魚道の維持管理や魚のゆりかご水田米の生産にかかる負担が増大している。また、生産意欲を高めるために、知名度を向上させることも課題である。

本業務では、知名度と生産意欲の向上のため、農業者および農業者団体が、魚のゆりかご水田の魅力や価値の認識を深め、自ら効果的な情報発信を行うことと、魅力的な情報コンテンツの作成を目的とする。

3 委託場所と期間等

(1)場所:滋賀県内一円で実施する。

(2)期間:契約締結日から令和8年3月12日(木)まで

4 業務の構成

(1)情報発信スキルアップ研修

(2)ネットワーク強化のための交流研究会の開催

(3)魚のゆりかご水田の様子やイベントの取材と魚のゆりかご水田紹介動画の作成

5 スケジュール

内容 \ 時期	5～7月	7～8月	3月
(1)情報発信スキルアップ研修	研修内容の調整	スキルアップ研修	実績報告作成

内容 \ 時期	6月	9～11月	11月	3月
(2)交流研究会の開催	講師の選定会場選定	参加募集	交流研究会実施	実績報告作成

内容 \ 時期	(5月～2月)	3月
(3)イベント等の取材と動画の作成	現地の取材と動画作成、それらを編集した魚のゆりかご水田紹介動画の作成	実績報告作成

※上記は予定であり、状況等に応じて変更の可能性がある。

6 業務内容

(1)情報発信スキルアップ研修(1回)

ア 目的

魚のゆりかご水田に取り組む農業者や流通関係者等が、動画撮影技術を向上することで、現地情報・イベント情報を自ら発信できるようになることを目的とする。

イ 研修会の時期および内容

- ・時期:7月～8月の1日 時間の目安:45分×4単位。
- ・内容

テーマ:人が引き付けられる映像(静止画・動画)の撮り方・編集の方法

具体的には、画角の違いや露出による画像の違いについて会場内で学習したのち、実際に会場の近くの水田等農地において撮影を実施する。さらに撮影した画像の色調やコントラストの調整など簡易な加工による効果を学ぶ。

ウ 準備や当日の記録

- ・カリキュラム作成および講師選定等、会場等の準備、チラシ作成
- ・研修毎に参加人数は10名を想定、参加者を取りまとめて名簿の作成
- ・会場、機材、資材準備、講師派遣および日程調整
- ・当日の運営、安全管理、写真撮影

エ 研修会案内用のチラシの作成および案内

- ・案内用のチラシをA4版で100部作成し発注者に送付する。またPDFデータを発注者にも送信すること。
- ・チラシの送付先は9農協、19市町農政主務課とし、残りの部数は発注者に送るものとする(送付先リストは発注者が提供する)。
- ・チラシ送付にあたっては、発注者作成の通知文を添えること。通知文はあらかじめ発注者がPDFデータで作成し、送信するので、印刷して添えること。

- ・研修会終了後、参加者にアンケート調査を行うこと。アンケートの内容は、発注者と協議のうえ、今後の研修会につながる内容とすること。
- オ 提案していただくこと
 - ・農業者、流通関係者が学ぶことを前提に研修会を通じて、基礎から魅力ある画像撮影・加工技術までを伝えられるカリキュラムを提案すること。
 - ・研修に参加してみたい魅力的なカリキュラムを提案すること。

(2)ネットワーク強化のための交流研究会の実施(1回)

ア 目的

生産者や流通関係者が「魚のゆりかご水田」の魅力や価値について理解を深めることで、消費者への発信力を高めることを目標とする。

イ 業務内容

生物多様性に配慮した農産物を利用している企業による取組の紹介と、今後の可能性について交流研究会を実施する。具体的には以下の内容を検討しているが、必要に応じて発注者と協議して進めるものとする。

- ・講演については、株式会社アレフ(ハンバーグレストラン「びっくりドンキー」等を展開、本社は札幌市)を想定している。詳細はこちらを参照すること。

https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/treaty/files/4_sustainablepurchasing.pdf

- ・講演の後、グループ討議(ワークショップを想定)を行う。

(ア)業務内容

- ・交流研究会の企画全般、チラシ作成
- ・参加とりまとめ、名簿の作成
- ・交流研究会で使用する機材・資材等準備、講師等調整
- ・当日受付や運営、補助作業、安全管理、写真撮影
- ・当日の交流研究会の進行は発注者が行う。ワークショップの進行役(ファシリテーター)についても発注者側で行うものとする。
- ・交流研究会終了後、参加者アンケートを実施すること。内容は発注者と協議のうえ、感想のほか、今後の交流研究会への要望についても問い合わせること。

(イ)交流研究会の時期・場所等

- ・時期は11月中下旬の、平日午後を想定している。
- ・会場は、参加者が参加しやすい場所を選定すること。

(ウ)対象者

- ・魚のゆりかご水田等に取り組む者

- ・魚のゆりかご水田米等の流通関係者
 - ・その他魚のゆりかご水田関係者
 - ・魚のゆりかご水田等の実践希望者
- ※「魚のゆりかご水田」に限らず、棚田や生態系に配慮した「豊かな生きものを育む水田づくり」実践者なども対象としている。

(エ)交流研究会案内用チラシの部数等

- ・案内用のチラシを A4 版で 100 部作成する。また PDF データを発注者にも送信すること。
- ・チラシの送付先は 9 農協、19 市町農政主務課とし、残りの部数は発注者に送るものとする(送付先リストは発注者が提供する)。
- ・チラシ送付にあたっては、発注者作成の通知文を添えること。通知文はあらかじめ発注者が PDF データで作成し、送信するので、印刷して添えること。

(オ)提案していただくこと

魚のゆりかご水田など豊かな生きものを育む水田に取り組む生産者や取組組織に興味を持ってもらえる内容となるようなプログラムを提案すること。

(3)イベント等の取材と情報コンテンツの作成

ア 目的

「魚のゆりかご水田」の知名度を向上させるため、県内各地の「魚のゆりかご水田」での田んぼの生きものの生態、農作業を含む人々の営み、イベントの様子などを取材し、動画として編集・作成する。

イ 業務内容

(ア)現地の情報の取材

各地域で取り組まれる「魚のゆりかご水田」の農作業や生きものの様子、お米の販売状況・各情報、イベントを含む PR 活動等の取材活動を行う。

(イ)動画コンテンツの作成

取材した動画データや各種情報を整理して、また必要に応じて学術的な内容も織り交ぜ、魚のゆりかご水田の取組がよくわかる動画コンテンツを作成する。

(ウ)主な撮影内容と作成する動画

時期	想定される撮影内容	
5月	田植え体験イベント	1回
6月	堰上げ式魚道と一筆型魚道	1回
	魚道を遡上する魚(※)	3回
	田んぼの中を泳ぐ仔魚(稚魚)	1回
	生きもの観察会	1回
7~8月	収穫を待つ魚のゆりかご水田	1回
9月	収穫体験	1回
10月~1月	魚のゆりかご水田米を食べる	1回
合計		10回

※魚道を遡上する魚の映像については、取材しても撮影できないことも考慮して3回の撮影を想定している。

- ・上記撮影内容をまとめて魚のゆりかご水田の内容がわかる動画1本を作成すること。動画は8分程度とする。
- ・(参考動画:<https://www.youtube.com/watch?v=GwAq6TM6-zY>)
- ・動画の撮影にあたって画質は4Kとし、成果物は4K画質のものとFullHD画質のものを納品すること。なお、魚がジャンプする様子など、取材対象によって4K画質のものが撮影しがたい場合には発注者と相談のうえFullHD画質のものに差し替えることができるものとする。
- ・撮影にあたっては個人情報への配慮を行うこと。
- ・撮影した加工前のデータも必要に応じて提供すること。

(ウ)提案していただくこと

魚のゆりかご水田の魅力を伝える動画コンテンツにする工夫について提案すること。

7 成果物(実績報告の作成)

受託者は、本業務の終了時に、業務の内容をとりまとめた報告書(以下「報告書」という)は、次のとおりとする。

(1)数量等

報告書(印刷物):正副2部(A4版ファイルに綴じること)

動画コンテンツ

書き込みデータ形式は原則 Microsoft Office 形式、動画は MP4形式(動画コーデック:H.264、オーディオコーデック: AAC-LC)とするが、詳細については業務着手時の打合せ等により決定する。

なお納品にあたっては、事前に滋賀県大容量ファイル転送システムを用いて Web からの送信による納品とする。

表紙： 業務名、タイトル、主催、委託業者名を記載、作成年月日を記載

内容： ・情報発信スキルアップ研修

研修会の資料、参加者名簿、研修会全体の様子など

・ネットワーク強化のための交流研究会を実施

資料概要、参加者名簿、研修会全体の様子など

・イベント等の取材と情報コンテンツの作成

発信した内容等、発信した内容の一覧表

・打合せ記録簿

(2)納入場所

滋賀県農政水産部農村振興課(〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1)